

認知症の人と共に暮らす社会へ



認知症の人の想いを想像してみましょう

- 今日が何月何日かわからない
- 時間がわからない
- 自分がいる場所がわからない
- 顔を見ても誰かわからない



皆さんがその当事者になったらどのような気持ちになる
でしょうか？

認知症の人の体験している世界を想像することで、
行動の意味を探りましょう



認知症は「病名」ではなく「状態」

認知症とは、健常であった認知機能がなんらかの脳の障害により持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障が出て
いる状態です。



「独りで社会生活が送れない」

記憶障害=物忘れだけが認知症ではありません。



料理や掃除、お金の管理、仕事、
車の運転など生活に支障がでてきます

認知症といえば、アルツハイマー型認知症が有名ですが、
ほかにも認知症や認知症様症状をきたす病気は 60 以上ある
とされています。

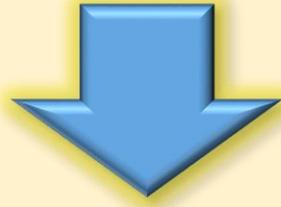
なかには治療により改善できるものもあります！
おかしいなと思ったらすぐに相談してください。



認知症についての考え方を変えることが重要

これまで・・・

- 認知症になったら何も分からなくなる
- 一人で暮らせなくなる
- 周りに迷惑をかける
- 介護が必要
- 本人は分からないから周りが決めてあげないといけない
- 地域の中で暮らせない、隠す、遠ざかる
- あきらめ、ぼんやり、絶望



これから . . .

- 認知症になっても、**できること、わかることは多い**
- **環境の工夫**やちょっとした**周りの支え**で自立できる
- 自分の気持ちや思いがあり**自分で決められる**こともある
- **できることを活かして**、地域の中で活躍、支え合う
- **あきらめず、楽しく、希望を**

認知症の人を支援の対象という視点だけで見るのではなく、ともに社会を築くパートナーととらえる見方に時代は変わってきています。今後は、誰もが認知症になっても希望と尊厳を持って暮らし続けることができる認知症バリアフリー社会を目指す必要があり、当院もその実現に貢献できるよう努めてまいります。

